

会 議 錄

会議の名称	第3回川越市観光振興計画審議会
開催日時	令和7年10月23日(木) 午前10時00分 開会・正午 閉会
開催場所	川越市役所4階 4A会議室
会長氏名	獨協大学外国語学部 教授 鈴木 涼太郎
出席者・ 欠席者 氏名(人数)	別紙委員名簿のとおり
傍聴人	なし
事務局職員 職・氏名	岸野部長、榎本課長、関根副課長、杉本副主幹、加藤副主幹、 大新井主査、宮川主任、中村主任
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 第三次川越市観光振興計画(案)について (2) その他 4 閉会
配布資料	1 次第 2 出席者名簿 3 資料1：第三次川越市観光振興計画(案) 4 参考1：意見回答シートまとめ

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木会長のあいさつ ・会議及び会議録の公開について 鈴木会長より <ul style="list-style-type: none"> ①会議は原則公開すること ②市民等への傍聴を認め、定員を5人とすること ③会議録を市HPに公開し、発言は「会長」「副会長」「委員」で記録すること <p>以上を委員に承認を求め、認められる。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 次期川越市観光振興計画（案）について</p>
事務局	<資料1、参考1を基に説明>
会長	限られた時間での議論となることから、バランス良く意見をいただきたい。まずは、第1章及び第2章、第3章の4本市の現状までの意見をお願いしたい。
会長	<p>P15について、主な観光資源として(5)その他とあるが、代表的な4つの観光エリア以外についての記載があつてもよいと考える。グリーンツーリズムの推進や武藏野の落ち葉堆肥農法を生かした観光を推進することになった場合、関連するエリアが記載されていた方が整合性を取ることができるのでないか。例えば、(5)他の①伝統行事等の前に①周辺の郊外エリアとして、いくつかの場所を紹介するのはどうか。</p> <p>P16の④スポーツについて、法人の名前に併せて、チーム名を入れてもよい。また、「KOEDO KAWAGOE F. C」の頭のKはCではないか。修正をお願いしたい。</p> <p>P17以降のオーバーツーリズムについて、他に比べてバランスが悪いと感じる。可能であるならば、P17に全ての情報を集約した方がバランス良くなる。P19のポンチ絵のエッセンスをP17に入れられると良いのではないか。</p>
委員	P14の(2)氷川神社・川越城本丸御殿エリアについて、先日、新聞に本丸御殿が非常に簡素な作りであると書かれていた。

	以前に比べれば、非常に綺麗になっているが、改善策として、杉戸絵の復元を行うことで、本丸御殿が装飾性豊かになり、観光客に喜ばれるのではないか。予算を考えるとコピーやディスプレイのみでもよいと考える。
委員	文字の誤りであるが、P 1 4 の 1 川越市の概況にある川越氷川祭の山車行事（川越まつり）については、鍵括弧で囲った方が適切であると考える。
委員	P 1 6 の④スポーツについて、チームがどこにあるのか、練習場やどこに行けば試合が観戦できるのかがわからない。ここに記載されているチームは、川越市内にホームがあるのか。
会長	埼玉県全域をホームタウンとしており、その中に川越市があるという認識である。
委員	連携すると川越市に何かメリットはあるのか。
事務局	例えば、先日、ちふれASエルフエン埼玉とは包括連携協定を結び、川越市がホームタウンに認定された。これはリーグの認定がないとホームタウン指定を受けられず、ホームタウンになれば試合が開催できるという位置づけである。11月2日には川越運動公園陸上競技場で公式戦も開催される。 また、COEDO KAWAGOE F. Cは市内に決まった練習場はなく、県内のグラウンドを点々としている状況である。
会長	関係人口づくりに関係してくると考える。例えば、埼玉西武ライオンズは所沢市に球場があり、そこで川越市民デーを開催し、市内在住・在勤・在学者は割引料金で試合を観戦することができる。実際に行っているかは分からぬが、試合会場で川越市のPR活動をする可能性もある。ラグビーチームのワイルドナイツは熊谷がホームであるが、ホームタウンということであれば、そこに来た観戦客を川越市にも来てもらえるよう誘致するといった取組が今後の関係人口づくりの中で出てくるのではないかということで、本項目でスポーツについて取り上げているのではないかと考えている。また、ちふれASエルフエン埼玉やCOEDO KAWAGOE F. Cは市内で試合を開催する可能性があるため、直接的な関係人口づくりを行うことができると考える。

事務局	西武ライオンズにつきましては、川越市民デーということで、優先して席を確保するという取組がされている。
委員	それが、川越の観光とどう関係があるのか。主な観光資源という項目の中で、スポーツがあって、なぜ、西武ライオンズの優待券の話しが出てくるのか。
会長	<p>そういうった場所に合わせて観光のPRをするというものではないか。今後については、西武ライオンズやワイルドナイツなどのチームファンは市民以外にも多くいて、他市に住んでいるファンに川越市にも来てもらうという取組も考えられる。</p> <p>また、スポーツイベントで来るというよりも、ホームタウンに認定されている川越市に観光に来てもらうというイメージになるのではないか。</p>
委員	3章から4章にかけて、課題の原因が記載されていない。事実があって、課題があって、原因があって対策を講じる。原因がまとまっていないのに、いきなり取組となるのがわかりにくい。原因が何なのか、原因をまずは明らかにする必要があるのではないか。
会長	P37からP38にかけて、それらを繋ぐような原因に対する記述があると良いか。
委員	ごみの問題が出たときに、マナーの問題についていたが、例えば、ごみ箱は十分あるのか、もしごみ箱の数が不十分であるのに、マナーの問題にしているとするならば、原因を追究できていないのではないか。
会長	確かに、原因があって、それを解決するために施策が必要という流れがスムーズである。記述を加える方向で考えたいがよろしいか。
委員	P17の(1)本市のオーバーツーリズムの状況について、車両と人の錯綜については、一番街における大きな問題であるが、喜多町から氷川神社にかけての道はもっと深刻な問題であると考える。一番街周辺部に加えて喜多町から氷川神社の道の表記も加えてほしい。

委員	<p>P 2 1、2 2について、川越市の消費単価の次に日本全体の消費単価が記載されているが、突然記載されている感じがあるため、日本全体を記載してから川越市を記載した方がよい。</p> <p>また、P 2 2、2 3の表の関係性がわかりづらいため、表のタイトルを入れた方が良い。</p> <p>P 2 1の観光消費総額5 1 2．6 1億円について、川越市の産業の中でどれくらいの位置づけになるのかを示した方が良いのではないか。観光以外の産業もある中で、観光がどのくらい川越の経済に貢献しているかを示せたら良い。</p> <p>P 1 4からの2主な観光資源について、市民に見てもらうことを想定すると、可能であるならば地図を入れることで、どれくらい観光資源が分布しているのか、または集中しているのかが見えて、集中がないところにどう広げていくかのヒントにもなるため、ぜひ地図は入れた方が良い。</p>
副会長	<p>川越城富士見櫓について、以前から再建の話があったが、予算の問題などもあり実現できなかった。大学と協力して、設計図に合わせた形にVRで再現したこともある。可能であるならば、(2) 氷川神社・川越城本丸御殿エリアで、富士見櫓の写真を入れる等、PRが出来たらと考える。</p>
委員	<p>P 1 6の④スポーツについて、川越をホームタウンとする3人制バスケットボールのチームもあるので、今一度調べていただきたい。スポーツツーリズムを掲げるのであれば、不足がないようにしていただきたい。</p>
会長	<p>このほか誤字脱字や他の観光資源の紹介・アイデアがあれば個別に伝えてもらいたい。</p> <p>続いて、第3章の後半から第4章にかけて意見をいただきたい。</p>
委員	<p>振興計画の作成にあたり、丁寧に行っていただき、また多数の意見もまとめていただき、素晴らしい計画ができると思うが、最重要課題や重点目標、市長の想いなどを含め、5年後に川越がどのようにになっていったいのか、なりたくないのか、そのようなことを新しい振興計画で示せればと思う。</p>
会長	<p>優先順位など、事務局で意識していることはあるか。</p>

事務局	現時点では、重点は定めていない。委員の方々の意見をいただき、参考にしたいと考える。
会長	委員の方々には、意見があれば述べていただきたい。
委員	一つ一つの取組や施策に優先順位を付けるより、複合的に、組み合わせることで、プロジェクト的に実施できるものを2つ3つあると、街が変わったと、より可視化できると考える。そのような整理をした上で、プロジェクトとしてやるべきことが出てくると良いのではないかと考える。具体的に何がプロジェクトとして最適であるかはまとまっていないが、考え方及び整理の仕方として一案述べさせてもらった。
会長	体系図の中に赤字にする案や、組み合わせて見えやすい取組の方針を示すのも一つの案と考える。
委員	内容についてではないが、観光協会として最近の大きな課題を考えるのは、夏の猛暑である。川越は古い城下町であるため狭い道に樹木を植えるという文化がない。敵が隠れてしまうと城下町として守りを固められないため、道が狭く、木がないという状況であり、数年前の大学の調査では、熊谷より川越の方が3度暑い、つまり川越が一番暑いとなった。タクシー運転手の方や商店の方に話を聞いても、夏の猛暑が大きな脅威になっているという。そのため、早朝や夜間への観光時間のスライドや屋内観光の充実、ミストや霧も含めた涼しいと感じる演出など、これから夏の観光需要の成否を左右すると考える。どの取組に該当するかは不明だが、大きな課題の一つと認識している。
会長	まさに複数の内容を組み合わせた、回遊性と環境整備といった具体例の一つになるのではないかと考える。
委員	優先順位を付けることは非常に重要と考えるが、やはり優先順位の決定はKPIと考える。KPIにどれだけ寄与するかで優先順位が決定すると考える。KPIを達成するために一番効果的なもの、それと実施するにあたり時間がかかるないもの。それらが分からないと優先順位は決めかねると考える。
会長	短期的に効果があるものを確実に行う発想と、重点的であるが、長期的でしか効果が現れないものもある。非常に重要な意見

	であると考える。今後、計画を整理していくときの参考にしたい。事務局より補足や意見はあるか。
事務局	短期的にすぐに効果があるもの、K P Iについての意見、中長期的なものの話をいただいた。市長マニフェストなどもあるため、持ち帰って総合的に検討していきたいと考える。
委員	<p>P 3 5にコロナ禍が収束とあるが、削除した方が良いと考える。パンデミックは終息したが、ウイルス自体は変異を繰り返しながら今後も流行すると考える。令和5年5月に5類感染症に移行してからは、人々の行動制限などが緩和されただけであって、今後も引き続き高齢者や基礎疾患がある方などは注意が必要であるため、「収束」という言葉は避けた方が良いと考える。言葉を消しても、文章はつながると思う。P 5では「収束」は記載されていない。</p> <p>また、川越城本丸御殿からVRゴーグルをかけると、川越城本丸御殿の奥に富士見櫓が見える。つまり、川越城本丸御殿と富士見櫓は非常に関連性があるということがわかる。富士見櫓で重要なこととして、喜多院にある慈眼堂と時の鐘の位置がある。2箇所とも富士見櫓があった当時は見ることができることを確認した。慈眼堂と真直角に時の鐘がある。なぜかというと同じ距離で同じ高さで直角に二つの位置が、そこから鐘を突いた時に、音で敵の侵入や火事をなどの異変を知らせる防空システムであると考えている。また、絵として、富士山や時の鐘を見せられると良いのではないかとも考えている。</p>
会長	次に、第5章について意見をいただきたい。
委員	個々具体的な指摘ではなく、観光行政全体への要望と捉えていただきたいが、川越らしさの魅力をさらに伝えるためには、情報の質の向上が必要ではないか。歴史的な背景や由緒、他の地域との比較を述べることとし、文化的な要素だけでなく、工学的な要素も含めて取り組んでいただきたいと考える。例えば、松平信綱が札の辻の東西南北に通じる道路を整備したが、その広さは当時の江戸の目抜き通りと同じ幅である。このようなことを付けるだけでも、当時の川越が江戸と強い繋がりがあった状況にあると認識できる。また、古多摩川水系も記載できれば良いと考える。
会長	施策15の広域連携などに生かしていければと考える。個別な

	取組に対してではなく、全体に対する意見と受け取らせていただく。
委員	<p>第5章の基本方針1と基本方針2のところで交通関連のことが個別に記載されているが、これらは密接に関係するので、個々に対応ではなく、交通関連は束になって考えてみてはどうか。進め方の問題もあるが、分かれているものを一緒に考えてみてはどうか。</p> <p>P44取組6の自転車シェアリングの推進について、駐輪場を新規に作るスペースはあるのか。狭い箇所に多くを駐輪されても迷惑ではないか。推進するにあたっては、出発地と到着地だけでなく、中継地を作る必要があるのではないか。そうしないと、推進しても、逆に自転車が迷惑となってしまうのではないか。</p> <p>P43取組1のマナー対策について、マナーの問題だけであるのか。ごみのポイ捨てであれば、ごみ箱の設置で解決するのか、外国人に向けてであるのか。極端な話、条例を制定するなど、例えば、シンガポールではガムを食べることができないなど、それくらい厳しく取り組まないと、啓発だけではどうにもならないと感じる。</p>
会長	交通関連が施策1と施策2に分かれている点について、整理の仕方など、事務局の説明・補足はあるか。
委員	原因が何か、ごみについては、誰が捨てていて、どんなごみが捨てられているのか、どこの場所なのか、その辺りを明らかにしないとマナー啓発だけで良いのか判断できないのではないか。
会長	ゴミ箱の適切な設置によって、ポイ捨て防止という効果があるため、純粹に観光客のマナーだけの問題ではない。
委員	ゴミ捨て場所があるのであれば、デジタルでゴミ捨てマップを作成すれば、効果があるのではないか。
会長	施策1取組2は、そのことに関連してくると考えられる。観光客に対してのマナー啓発だけが対策ではないということがわかるような見せ方を検討してもらいたい。
事務局	交通関連について、事務局の整理として施策1は主にオーバーツーリズム対策における交通対策である。北部市街地においての

	ことであり、取組3、4を施策1に紐づけていることになる。施策2については、インフラの整備であり、北部市街地に限らず観光客全体に向けた取組になる。
委員	<p>基本方針1の観光環境という言葉はあまり聞きなれない、なじみのないものである。他の言葉の方が良いかも知れない。施策1のタイトルが「観光客の受入と生活環境への配慮」とあるが、可能ならば、「生活環境に配慮した観光客の受入」とした方が良いと考える。</p> <p>また、KPIに宿泊観光を伸ばすとあるが、それには宿泊施設をどのようにするかが課題として出てくる。現在の宿泊施設で足りるのか、民泊を取り入れるのかなどがある。現在、民泊は問題になっており、豊島区では住民の生活に支障きたすほどであり、条例改正で揉めているほどである。豊島区と川越では状況が異なるが、民泊をどのように考えているのか記載があつても良いと考える。</p>
副会長	川越の宿泊状況を考えると、大きなイベントがある時は足りないが、通常時は十分間に合っている状況である。民泊利用者は海外の方が多い印象であるが、民泊はマナーの問題が大きいと考える。民泊に限られたことではないが、海外からの旅行客に対して、日本でやってはいけないことが説明されていない。受け入れ側が困っている。マナー問題も全体で取り組んでいければと思う。
委員	民泊は担当部署が観光ではなく、環境や保健関連などであったと思う。
会長	今の話しを関連させるとなると、P55施策10の中で、市内の宿泊施設の活用などとともに住民の生活環境への配慮について記載するなどが考えられる。
委員	今の課題は7～9月が川越は暑すぎて、夏場に観光客が落ち込むことではないか。夏の観光客数や宿泊率を上げるKPIにしないと、年間で見たときに、繁忙期の数値だけが上がってしまい新たな問題が出てきてしまう。閑散期にどう人を呼び込むかが大事ではないか。その結果、全体の数字が上がれば良いのではないか。KPIをもう少し細かくした方が良いのではないか。
会長	夏に川越に宿泊してもらって、涼しい朝方に安全に観光しても

	<p>らうことで、川越での滞在時間も伸びる。全体の計画にどこまで細かい部分を記載するか検討の余地があるが、市に検討いただきたい提案であると考える。</p>
委員	<p>マナーを作つて啓発するだけでは足りないと思う。マナーやモラルの部分を条例にすることは国内でも珍しい。観光客だけでなく住民・事業者の3者を含めた条例を作るのは日本で初めてのことかもしれないが、目指しても良いのではないか。</p> <p>また、P57取組45の観光ガイドの育成について、観光ガイドの方で英語の話せる人が50人以上いるのは、県内でも川越のみである。埼玉県で初めての地域通訳案内士の制度を川越が作るとなれば、現在、英語で観光案内している方が更に上位の英語の資格を目指して、賃金ももらえるようになることで、地域が潤い、地域通訳案内士がしっかりと仕事ができるようになる。川越の正しい歴史や知識を伝えられる資格を川越市が作ることが重要である。</p> <p>P52取組29について、デジタルで何かを見せる、見せ方を磨き上げるという意味でデジタルコンテンツという文言を入れてはどうか。</p> <p>P53取組34早朝夜間観光の活性化であるが、先ほどから意見が出ていているように、夏季の観光の活性化の文言を入れてはどうか。</p> <p>P54取組36の工場見学受け入れ企業の開拓に併せて、企業研修の文言を入れてみてはどうか。川越を通じて教育をする、川越にしかないコンテンツを企業や大学などの研修に利用してもらうことでお金がいただける。そのことで地域が潤う、このような自主財源の収入も考えられることから、企業研修の文言を含めても良いのではないかと考えた。</p>
会長	<p>P57取組45は「ボランティア」の言葉を削除しても良いのではないか。賃金が発生しても問題はないと考える。</p>
委員	<p>取組45に関して英語のボランティア団体があったと思うが、ボランティアだから無償で行うのは理解できるが、団体に参加するには会費が必要であった。なぜボランティアなのに会費が必要であるのか。</p> <p>また、VRを積極的に利用した方が良い。先日、VR体験をしてきたが、10分で2,500円であった。観光にはお金がかかることなので、どこかで儲けることを考えなければならないと考</p>

	える。他にも、霞ヶ関カンツリー倶楽部をもっと活用したらどうかと考える。ふるさと納税で利用料を支払えるようにすることや、市民ゴルフ大会の際に、会場として開放するなどしてみてはどうかと考える。どこかの施策の中に入れていただければと思う。
会長	スポーツを通じた関係人口づくりにも繋がると思う。 次に、第6章の推進体制や、数値目標などのご意見をいただきたい。
委員	P62の推進体制の図であるが、各主体が並列になっており、どのように施策が流れていくのかが示されていないため、これでは機能しないのではないか。JSTS-Dという、日本版持続可能な観光ガイドラインの中に、推進体制の図がある。例えば、岩手県釜石市や沖縄県宮古島市の体制では、自治体首長を筆頭とした体制が掲載されているため、それらを参考にしながら、川越はどのように指示が流れ、どのように協働していくかが示された図に変えたほうが良いと考える。
委員	施策ごとに誰が実行するのか、責任を取るのか示した方が良いと。
事務局	施策については、どこが実行するか記載はないが、取組については推進体制という言葉を使って、どこが主体となって取り組んでいくかを明記している。
会長	推進体制の図については、どれがベストか試行錯誤しているところである。P62の推進体制の図の意図は何かあるのか。
事務局	各取組の推進体制について事務局で検討していたのが、当初は実施主体を設け、その下に協力先として進めていた。現在は、推進体制ということで、横並びのような形をとっているが、P62の推進体制の図とリンクさせるような形をとっている。一つの括りにして6つ記載しているが、例えば、農家の方、学生の方が出てこないため、事務局でも非常に苦慮している。責任を明確にするのであれば、実施主体で大きく括り、協力先として付けることも可能ではあるが、委員の方々の意見も参考にしたい。
会長	責任を明確にできるところ、多様な主体が協力するところな

	ど、取組によって差がある。統一的に明記するのは困難であるため、このような推進体制としたと理解している。
副会長	市が筆頭となってまとめるものと考える。観光協会やDMO、商工会議所などをまとめるのは市であると考える。例えば、市長がトップに立ち、それぞれの団体の長で集まっての会議を開催することが必要ではないか。また、中心市街地の活性化のためにつくられた「まちづくり川越」というまちづくり会社もある。それぞれの団体が個別に取り組むのではなく、市長がトップに立ち、各団体をまとめていくのが良いと考える。
会長	この場で結論を出すのは難しいと思うため、継続して検討していただきたい。図にするのが難しい場合、言葉で補うという方法もある。今回の意見を参考に改善していただきたい。
委員	P 6 6 の 5 数値目標について、③リピーター率、④観光時間半日以上の割合、⑤宿泊観光の割合は、なぜ値を上げなければいけないのか。⑥平均観光消費額（一人当たり平均）、⑦観光消費額（推計）、⑧入込観光客数を上げるために③④⑤があるのか。
事務局	③④⑤を上げると⑥⑦⑧も連動して上がると考えている。
委員	リピーター率が低いから観光客数が横ばいや下がっているくなっているのであればわかる。しかし、各データを見ると⑥⑦⑧は上昇傾向にあるため、リピートや宿泊をしなくても良いのではないかと考える。なぜ、あえて③④⑤を数値目標に設定するのか分からぬ。⑥⑦⑧が下がっているから、③④⑤を上げる必要があるというならわかるが、データ上はそうではない。
会長	③リピーター率に関しては、観光客が川越観光を量ではなく質の面で満足しているかの指標として捉えている。消費額とは切り離して考えた方が良いと理解している。
委員	そうすると、満足度はどこが不満であるのか。課題があるのであれば、それに特化した指標にした方が良いのではないか。それに対策を講じる。そこが上がれば⑥⑦⑧も上がる。このような感じにすれば良いのではないか。 また、⑥について、川越は現金しか利用できないところが多いため、外国人にとっては不便であると思う。海外では田舎でもク

	レジットカードが利用できる。海外とは事情が異なるが、もう少しキャッシュレスの普及が進まないと観光消費額は上がっていくのではないか。上げるためにには、クレジットカードが利用できる環境を整えるような施策が必要ではないか。
会長	夏の時期に特化して宿泊率を上げることは非常に重要であると考える。5年の振興計画の中でどこまで個別的な数値目標を上げていくのかという問題と関係してくるため、個別具体的な取組では、具体的な数字を設定して取組を実施していただきたい。
委員	先ほどから夏の誘客の話が出ているが、季節性の課題は現状分析に盛り込んだ方が良い。夏だけが問題なのか、それ以外の季節はどうなのか。季節変動に関する内容が、いずれかの取組に関わってくる可能性があるため、季節変動に関するデータを保管しておいた方が良い。
委員	都道府県魅力度ランキングで埼玉県が最下位になってしまった。ナイーブに反応するのも良くないことであると思うが、しかし、このようなことが表に出てきてしまうと、観光客のモチベーションや受け入れ側の自信に影響してしまうと思う。振る舞いや心構えを機会があれば教えてもらえるとありがたい。
委員	季節性の課題の話であるが、どのような人が来ていないのか。日本人であるのか、外国人であるのか、逆にどのような人を呼ばばよいのか。個別的な対応をしたほうが良いのではないか。
会長	J N T Oでは、国別でプロモーション用のコンテンツを変えていく。それを市でどこまで落とし込めるかが今後の課題であると考える。
	4 その他
事務局	<今後のスケジュールを説明>
	5 閉会